

種類と価格

ウルトラ フレックス メッシュ プレート

カタログNo.	形 状	発注コード	標準価格
UF-01S	厚さ0.1 mm, スモール (25×35 mm)	CDM20101	¥20,000
UF-02S	厚さ0.2 mm, スモール (25×35 mm)	CDM20102	¥20,000
UF-01L	厚さ0.1 mm, ラージ (35×48 mm)	CDM20103	¥30,000
UF-02L	厚さ0.2 mm, ラージ (35×48 mm)	CDM20104	¥30,000

販売名:ウルトラフレックスメッシュプレート 医療機器承認番号:22500BZX00458000



スクリュー

カタログNo.	形 状	発注コード	標準価格
MS15040C	φ1.5 mm×長さ4 mm	CDM20115	¥3,390
MS15050C	φ1.5 mm×長さ5 mm	CDM20116	¥3,390
MS15060C	φ1.5 mm×長さ6 mm	CDM20117	¥3,390

販売名:ウルトラフレックスメッシュプレート 医療機器承認番号:22500BZX00458000



骨手術用器械

カタログNo.	形 状	発注コード	標準価格
DR-35-1.2D	デンタルチャック・ドリルφ2.35×35 mm(φ1.2 mm×4 mm)	CDI20204	¥8,000
BT-35-00D	デンタルチャック・ドライバービット	CDI20203	¥30,000

販売名:ウルトラフレックスメッシュプレート手術用器械(デンタル)
医療機器届出番号:13B1X10168OSI003

カタログNo.	形 状	発注コード	標準価格
HN-92-25	ドライバーハンドル	CDI20200	¥35,500
BT-65-00	ドライバービット・ショート	CDI20201	¥24,000

販売名:ウルトラフレックスメッシュプレート手術用器械セット
医療機器届出番号:13B1X10168OSI001

カタログNo.	形 状	発注コード	標準価格
DR-65-1.2	ドリルφ2.35×65 mm(φ1.2 mm×6 mm)	CDI20202	¥8,000

販売名:ウルトラフレックスメッシュプレート手術用器械Ⅱ
医療機器届出番号:13B1X10168OSI002

カタログNo.	形 状	発注コード	標準価格
CS-129-34	スクリューケース	CDM20200	¥60,000
CS-68-03	スクリューケースMini	CDM20201	¥18,000

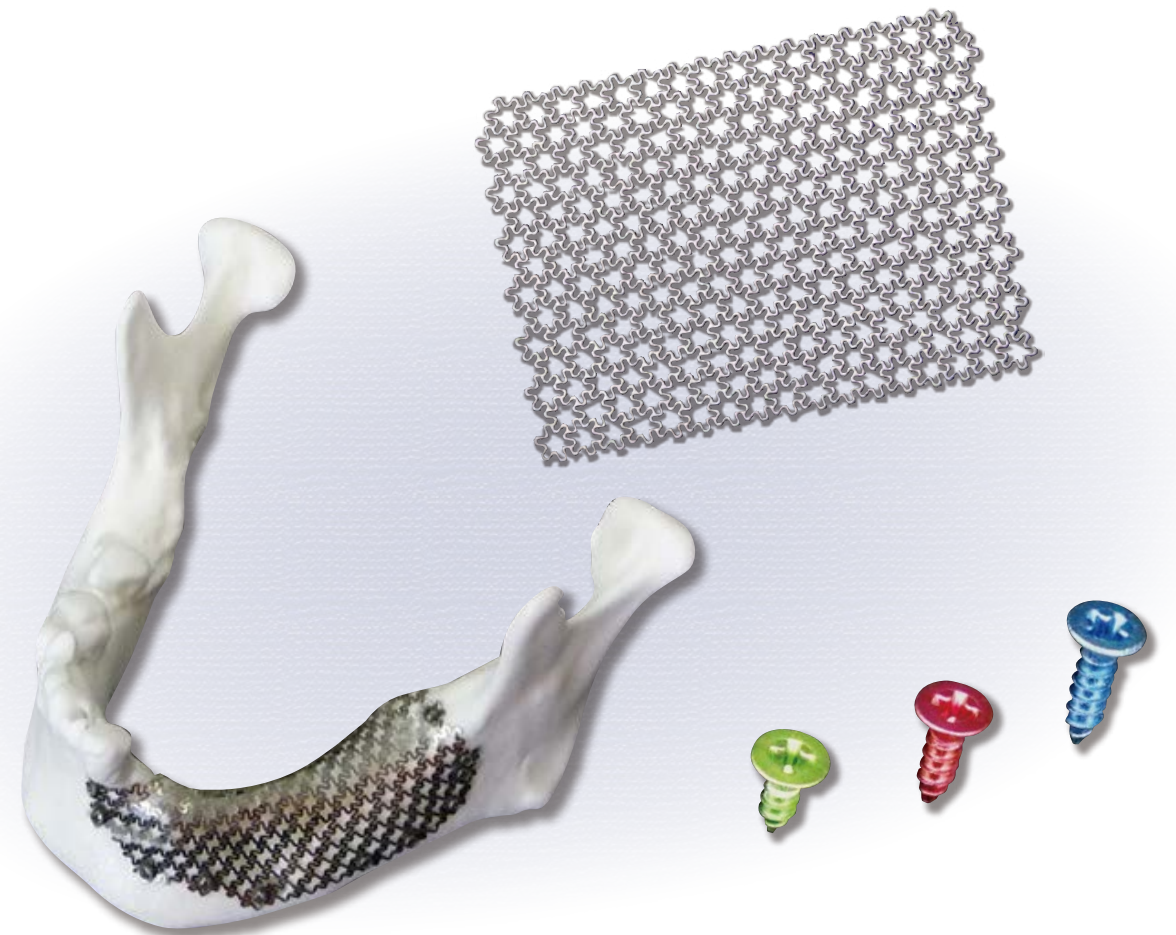
※フタ付き



ULTRA FLEX MESH PLATE

ウルトラ フレックス メッシュ プレート 体内固定用プレート 体内固定用ネジ

AMAZING FLEXIBILITY



発売元:
京セラメディカル株式会社
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-3-31 (上村ニッセイビル10F)



製造販売元:
(資料請求先)
株式会社ネクスト21
〒113-0033 東京都文京区本郷3-38-1 TEL.03-5840-8830 (代表)



販売元:
オリンパステルモバイオマテリアル株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス
<http://www.biomaterial.co.jp>



高度管理医療機器

未滅菌・再使用禁止

特殊なメッシュ構造で曲面になじむフレキシビリティ

特 徴

体内固定用プレート ウルトラフレックスメッシュプレート

- 純チタン製
- 特殊なメッシュ構造（マーガレットメッシュ構造）
 - ・曲面にも良くなじみます。
 - ・角ができ難いため、軟部組織を傷つけ難いです。
 - ・応力が分散するため、破折し難いです。
- カッティングが自由自在
- 厚さは0.1と0.2 mm、大きさは25×35と35×48 mm

体内固定用ネジ スクリュー

- 純チタン製
 - ・メッシュプレートと同じ純チタン製で、生体適合性に優れています。
- ねじ山径はφ1.5 mm、長さは4、5、6 mmの3種類
 - ・メッシュプレートと組み合わせることにより、骨を固定、矯正、安定化させます。

※ご使用の際は、添付文書をよくお読みの上、正しくお使いください。

警 告

スクリューによる固定に際して締め付け時に、本品の強度を超えた過剰なトルクをかけないよう、慎重な操作を行うこと。

禁忌・禁止

<適用対象（患者）>

1. 急性もしくは慢性の感染が疑われる場合[感染巣の転移や敗血症等の併発の恐れがある]
2. 材料に含まれている金属成分によるアレルギーがあると確認された患者[手術により当該症状の発症する恐れがある]
3. 血管分布障害のある患者への使用[骨折部や手術部位に十分血液が供給されず、治癒が遅れることがある]
4. 骨質・骨量の不足のある患者への使用[メッシュプレートが適切に固定できない危険性がある]
5. 神経障害の患者、医師の指示が遵守できない患者、アルコール依存症又は術後医師に非協力的な患者／精神的あるいは神経的及び筋肉的な障害のため、メッシュプレートの不安定化や固定不良あるいは後療法の困難等をきたす危険性を認める患者[医師の指導による後療法が実施できない恐れがある]

<併用医療機器>

他社製の体内固定用プレート、専用品以外の器械・器具との併用（【使用上の注意】の「相互作用」の項参照）

<使用方法>

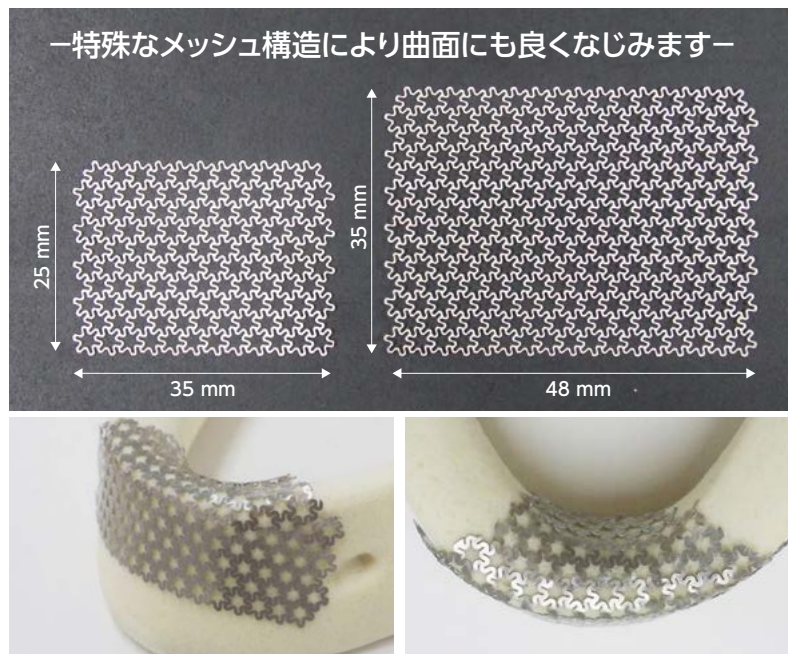
1. 再使用禁止[外見上損傷していないように見えても、使用により材質の疲労を生じて、強度的に問題となる場合がある]
2. 再滅菌しないこと[品質の低下や汚染の可能性がある]

貯蔵方法

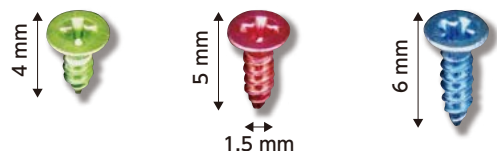
高温、多湿、直射日光を避け常温で保管すること。

使用の際の注意

- 未滅菌品なので、使用の際に洗浄・高圧蒸気滅菌してください。
- 荷重部には使用しないでください。
- 軟部組織を損傷させないように、鋭角に曲げないでください。断端部のバリを取ってください。
- スクリューをねじ込む際は、φ1.2 mmのドリルで下穴をあけてください。
- 創閉鎖の際は、骨膜に減張切開を加える等により、確実にテンションフリーで縫合してください。
- 単独使用では骨膜減張切開部等で結合組織がメッシュプレート内に侵入することがあります。



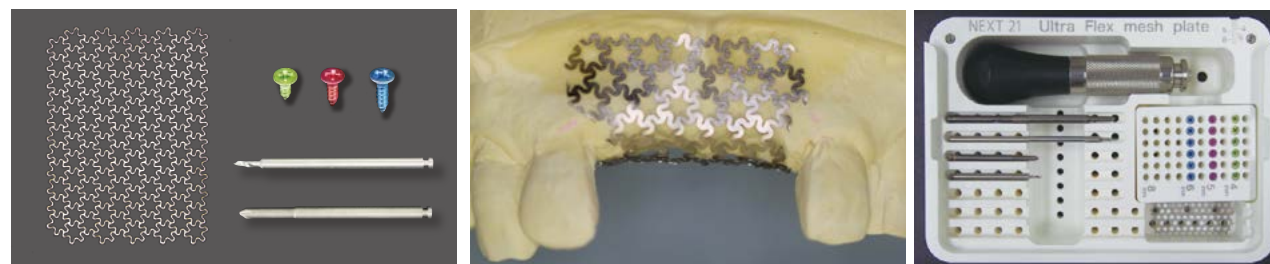
ー特殊なメッシュ構造により曲面にも良くなじみますー



使用症例1（使用方法）

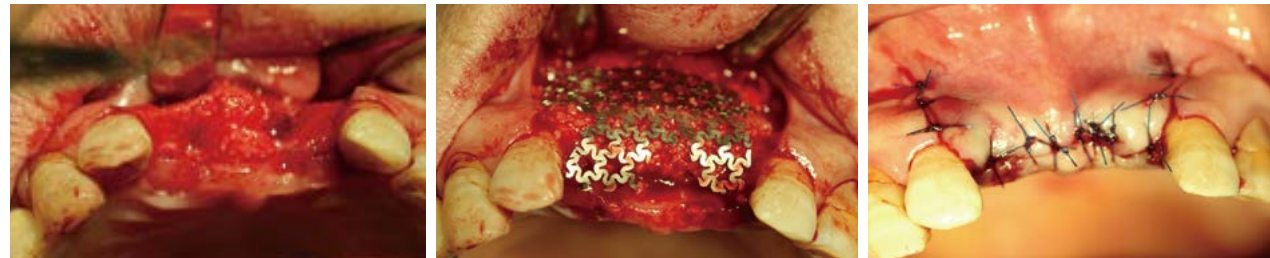
写真提供：宮澤 利明 先生（東京駅前インプラントセンター長）

術前



術前に、石膏モデルやボーンモデルを用いてメッシュプレートを形付け、カッティングした後、洗浄し、スクリュー、ドリル、ドライバビット等とともに高圧蒸気滅菌機で滅菌しておく。

術中



麻酔後、歯肉や粘膜に切開を加え、粘膜骨膜弁を剥離して骨欠損部を露出させる。

メッシュプレートを適合させ、必要に応じて再調整した後、適切な長さのスクリューで確実に固定する。なお、スクリューをねじ込む際は、φ1.2 mmのドリルで下穴をあけること。

粘膜骨膜弁の復位縫合や粘膜骨膜弁移動等により創閉鎖する。なお、創閉鎖の際は、骨膜に減張切開を加える等により、確実にテンションフリーで縫合すること。

術後



メッシュプレート適用時のCT・3D画像

術後CT画像

2.5ヵ月後

2.5ヵ月後 粘膜骨膜弁切開剥離時



2.5ヵ月後 メッシュプレート除去前
単独使用では減張切開部で結合組織がメッシュプレート内に侵入していた。

2.5ヵ月後 メッシュプレート除去後
歯槽頂部で十分な骨量が得られた。

除去後のメッシュプレート

2.5ヶ月のCT画像

使用症例2

提供：白川 正順 先生（明海大学歯学部 客員教授）



全層弁剥離

メッシュプレート適用

復位縫合後

術後CT画像

【参考文献】

1) 何 建梅ら：「インプラント用3次元自由成形チタンメッシュプレートの創製」, 日本機械学会論文集80 (809), p1-15, 2014